

八尾市における地域公共交通の課題及び基本方針等 について（案）

（八尾市の特徴）

1. 八尾市の地域概況及び交通現況

(1) 地域概況

- 市域の多くが標高10m程度の平地となっている。
- 一方で、東部では勾配の大きい住宅地が存在する。
- 全市的な人口の減少局面を迎えており、2040年の推計人口は215千人となっている。
- 2040年に高齢化率は約37%まで上昇すると見込まれている。
- 単身の高齢者世帯が増加の一途をたどっている。
- 人口が集中する主要鉄道駅付近以外にも、東部や北部地域など、既に高齢化率が30%を上回っている地域も存在する。
- 生活に必要な多くの施設は市全域に分布している。ただし、近鉄八尾駅やJR久宝寺駅周辺に比べ、相対的にみると、市東部では施設の集積が少ない。
- 通勤・通学ともに、八尾市内での移動が最も多くなっている。また、他市町との流動では、大阪市への流出が最も多い。

(2) 交通概況

- 市内各所で混雑度の高い道路が存在する。
- 市内各所で狭隘な市道が密集する地域が存在する。
- 市内には12の鉄道駅が存在し、各駅とも1時間4本程度の運行本数が確保されている。
- 近鉄八尾駅、JR久宝寺駅では利用者数の増加傾向が続いている。
- ネットワークの核となる駅前広場の整備が完了していない交通結節点が存在する。
- 近鉄八尾駅、JR久宝寺駅や河内山本駅を起点に民間事業者によるバスネットワークが形成されている。
- 民間バス事業者では厳しい経営環境が続き、近年、バス事業の路線縮小が進んでいる。
- 八尾市の一部では、鉄道駅やバス停からの距離が遠く、公共交通機関の利便性が低い地域（交通不便地）が存在している。その結果、地域の公共交通（鉄道やバス路線）がカバーしている人口エリアは約79.8%となっている。
- 市内では、複数のタクシー事業者・個人タクシーによって、タクシーサービスが提供されている。
- 八尾市内の主要道路を含む各路線を対象に、自転車ネットワークの整備が計画されている。
- 地域公共交通のほか、医療機関や高等教育機関、自動車教習所等で送迎等の輸送サービスが展開されている。

(3) 移動状況

- 通院や買物における移動手段では、多くの地域で自転車の利用が最も多くなっている（通院目的の約3割、買物目的の約4割）。
- 通院や買物ともに、自動車の移動が約2割を占めており、地域公共交通（鉄道・バスの合計）での移動は約1～2割にとどまっている。
- 85歳以上の約5割が「付き添いが必要」「外出が困難」と回答している。
- 65歳以上の約4割が自動車を自分で運転している。
- 八尾市全体で公共交通を「利用する」と回答した割合は3割未満にとどまっている。
- 市民の多くが「行きたいところ」を近鉄八尾駅方面と回答している。

(4) その他（社会情勢等）

- 高齢ドライバーによる交通事故の増加など、高齢者の移動に対する考え方、安全・安心への意識が見直される局面を迎えている。
- バス事業者における運転者不足や利用者の減少など、交通事業者を取り巻く環境は厳しさを増している。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、暮らしや移動のあり方が見直される契機となっている。

2. 八尾市の将来像

○ 上位関連計画におけるまちづくりの方向性

まちづくりの将来像（総合計画）

つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市「八尾」

<公共交通に関する基本方針>

- 地域特性に応じた新たな公共交通ネットワークを構築する。
- 公共交通の維持存続のための利用促進に取り組む。
- 移動のための多様な手段と機能の拡充に向けた取り組みを進める。
- これまでの公共交通を補完する新たなシステムの整備を促進する。

都市計画の視点（都市計画マスタープラン） ※ 改訂中

- 便利で快適な交通ネットワークが充実した都市づくり

（地域公共交通の課題）

公共交通サービスの恩恵を受けられていない地域がある中で、
いかに、交通不便地を解消するか

少子高齢化など社会情勢が変化するなか中で、
いかに、高齢者、障がい者、妊婦などの移動手段を確保するか

運転者不足をはじめとして交通事業者を取り巻く環境が厳しさを増す中で、
いかに、交通資源を維持していくか

公共交通に求められる期待が高まる中で、
いかに、公共交通が円滑に提供される環境を整えていくか

高齢化の進展等により、移動における公共交通の重要性が高まる中で、
いかに、公共交通を必要とする機運を高めていくか

新型コロナウイルス感染症の拡大など、暮らしや移動のあり方が見直される中、
いかに、時代のニーズに合った交通サービスを提供していくか

（地域公共交通の課題）

公共交通サービスの恩恵を受けられていない地域がある中で、
いかに、**交通不便地を解消するか**

少子高齢化など社会情勢が変化するなか中で、
いかに、**高齢者、障がい者、妊婦などの移動手段を確保するか**

運転者不足をはじめとして交通事業者を取り巻く環境が厳しさを増す中で、
いかに、**交通資源を維持していくか**

公共交通に求められる期待が高まる中で、
いかに、**公共交通が円滑に提供される環境を整えていくか**

高齢化の進展等により、移動における公共交通の重要性が高まる中で、
いかに、**公共交通を必要とする機運を高めていくか**

新型コロナウイルス感染症の拡大など、暮らしや移動のあり方が見直される中、
いかに、**時代のニーズに合った交通サービスを提供していくか**

（基本理念(案)）

すべての市民が、安全・快適に移動ができる地域公共交通ネットワークの維持・形成

- ・ 八尾市内に有する豊かな**交通資源（鉄道・バス・タクシー）**を維持しながら、住む場所や年齢などに関係なく、**誰もが、気軽におでかけでき、地域社会に参加し、安心・快適に暮らせる交通まちづくりの実現**をめざします。

（基本方針(案)）



既存の地域公共交通を軸とした
持続的かつニーズに合った地域公共交通ネットワークの形成

地域公共交通に関する
認知度向上と利用促進の徹底

地域住民・交通事業者・行政が
一体となった地域公共交通サービスの育成